



「ハッシュタグナイト・トラベラー」の
場面（ユナイテッドピープル提供）

タリバンから逃避 映画公開

アフガニスタンのイスラム主義勢力タリバンから逃れようとする難民家族を追つたドキュメンタリー映画「ミッドナイト・トラベラー」が、米同時テロから20年となる11日から全国で順次公開される。配給する映画制作会社「ユナイテッドピープル」（糸島市）の関根健次代表（45）は「難民問題に关心を持つきっかけになれば」と話している。

(島田愛美)

同時テロ20年 糸島の会社配給 全国で順次

関根代表は2年前、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）が主催する映画祭の運営に携わり、出品されていたこの作品に感銘を受けた。後にオランダの映画祭でファジリさんと偶然出会い、直談判して今回の上映が実現した。

はファジリさんがスマートフォンで撮影。約5600キの旅路で、案内人にだまされて全所持金を奪われたり、地元民に襲われたりして、迫害を受けながらも、いくつもの国境を越えていく姿が収められている。

が原因でタリバンに命を狙われ、妻と2人の娘と共に
欧洲まで車や徒步で逃避する様子を追っている。映像

映画は、アフガニスタンの映像作家ハッサン・ファブリゼン(1)が過去の作品

映画公開

糸島市、メダリスト表彰へ 林選手と瀬戸選手 初の特別功労者

糸島市の月形祐二市長は10日、ともに同市出身で、東京五輪バスケットボール女子・銀メダリストの林咲希選手(26)と、東京パラリンピック柔道男子66kg級・銅メダリストの瀬戸勇次郎選手(21)の2人に、特別功労者表彰を贈る方針を明らかにした。2019年4月に新設された同表彰を贈

市議会の一般質問で答えた。同表彰は教育、芸術、スポーツなどの分野で特に顕著な功績があった個人や団体が対象で、今後、選考委員会を経て正式に決定する。

月形市長は「2人の大活躍は糸島市始まって以来の快挙で、表彰に値する」と述べた。

任期満了に伴う糸島市長選（来年1月23日告示、同30日投開票）について、現職の月形祐一氏（63）は10日、3選を目指して立候補する意向を表明した。同市長選への立候補表明は月形氏が初めて。

市議会一般質問で、月形氏は、就任以来の実績として、ブランド戦略による糸島の知名度向上や、九州大との学術研究都市づくりなどを

糸島市長選現職3選へ出馬表明

関根代表は「映画は難民が自ら撮影した貴重な作品。過酷な現状を知つてほし」と話した。

映画は87分。東京、大分など全国で順次公開され、県内では11月7日午後1時から福岡市南区のアミ

上映にあたり、ファジリさんは「難民もひとりの人間。私たちの痛みも苦しみも理解してほしい」とのメッセージを寄せた。

**久山町議選
あす投票**

じたと主張。一方で、市役所新庁舎の整備事業などが途上であるとし、「私が責任を持って成し遂げなければならぬ。豊かさを実感できる都市の実現のため、次の3期目に挑戦する」と述べた。

以下施設を増加 期業予定年